

## 庄内川に生息するカワアナゴ属について

間野 静雄

川の研究室 〒461-0031 愛知県名古屋市東区明倫町2-41-1302

### Identification of the Genus *Eleotris* in the Shonai River, Aichi Prefecture, Japan

Shizuo AINO

Kawanokenkyushitsu, 2-41-1302 Meirin-cho, Higashi-ku, Nagoya, Aichi 461-0031, Japan

Correspondence:

Shizuo AINO E-mail: shi-zuonia@am.em-net.ne.jp

#### はじめに

カワアナゴ属 *Eleotris* は世界の熱帯・亜熱帯域を中心に分布するスズキ目カワアナゴ科の淡水魚であり (中坊, 2013; Nelson et al., 2016), 本州ではチチブモドキ *Eleotris acanthopoma*, テンジクカワアナゴ *E. fusca*, オカメハゼ *E. melanosoma*, カワアナゴ *E. oxycephala* の4種の分布が確認されている (静岡県, 2019). このうちカワアナゴは日本列島の太平洋側では茨城県~宮崎県・種子島, 屋久島の河川に生息分布し (中坊, 2013), 伊勢湾流入河川では木曾三川 (向井, 2019), 鈴鹿川 (荒尾, 2009), 安濃川 (中西ほか, 2008), 天白川水系, 庄内川水系, 山崎川 (名古屋市, 2015) で生息が確認されている. 一方で, チチブモドキは伊勢湾口部近隣の熊野灘流入河川 (山下ほか, 1997; 荒尾, 2009), 遠州灘流入河川 (荒尾ほか, 2007; 静岡県, 2019), テンジクカワアナゴとオカメハゼは遠州灘流入河川で確認されているが (荒尾ほか, 2008; 静岡県, 2019), 伊勢湾流入河川での確認例はない. 伊勢湾奥部に流入する庄内川にもカワアナゴ以外のカワアナゴ属が生息している可能性があるが, カワアナゴ属の外部形態は酷似するため, 間野ほか (2021) では庄内川で採捕した個体を詳しく同定できなかつた. しかし, カワアナゴ属4種は頭部孔器の特徴に基づき同定できることから (明仁, 1967; 中坊, 2013), あらためて庄内川でカワアナゴ属を採捕し, 同定したので報告する.

#### 材料と方法

庄内川の河口から14.4 kmに位置する枇杷島床止めから下流約600 mまでの区間において, 2020年9月7日~10月20日に竹筒仕掛けを用いて採捕した37個体を用いた. 採捕した個体は1個体ずつアクリル製の観察ケースに入れて標準体長 (SL) を測定し, 写真撮影したうえで, 中坊 (2013) に従い同定した. 同定を終えた個体はすべて採捕した付近に再放流した. また, 2016年に同区間において, 同方法で採捕し, 70%エタノールで液浸保存していた2個体 (2016年5月2日採捕, SL: 10.1 cm; 2016年7月30日採捕, SL: 13.1 cm) についても併せて同定を行った. 採捕は愛知県の特別採捕許可を得て行った.

#### 結果

37個体の標準体長は5.9-14.2 cmであった. 鰓蓋部の上下の孔器列は鰓蓋外縁で接していないこと, 眼下域に鱗があること, 頬の横列孔器列は縦列孔器列を横断しないことから, 全てカワアナゴと同定した (図1, 2). また, エタノールで液浸保存していた2個体についても同様にカワアナゴと同定した.

#### 考察

本研究に供した庄内川産のカワアナゴ属魚類はすべてカワアナゴ *Eleotris oxycephala* として同定された. カ



図1. 庄内川のカワアナゴ



図2. カワアナゴの頬の孔器列

ワアナゴ属の他種であるチチブモドキ、テンジクカワアナゴ、オカメハゼは、南西諸島から遠州灘や相模湾の流入河川で確認されていることから（荒尾ほか，2008；山川・瀬能，2015），伊勢湾においても分布する可能性はある。これらの種が伊勢湾や三河湾の流入河川で生息が確認されないのは，湾口部が狭く，黒潮による影響を受けにくいために南方から分散してきた仔魚が進入しにくいと考えられる。一方で，カワアナゴは湾奥部の流入河川に分布することから，伊勢湾・三河湾内で生活史が完結している可能性がある。伊勢湾周辺地域では，名古屋市で絶滅危惧II類（VU），愛知県で準絶滅危惧（NT），岐阜県と岐阜市で情報不足（DD），三重県で絶滅危惧II類（VU）に選定されている（岐阜県，岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版—岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版一，<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4261.html>，2021年8月20日確認；岐阜市，2015；三重県，2015；愛知県，2020；名古屋市，2020）。カワアナゴの生態については不明な点も多いが，本調査を含め，庄内川では幼魚から成魚と考えられる広範な体長の個体が確認されていることから（間野ほか，2021），本種が伊勢湾奥部で産卵，再生産している可能性があり，

その生息環境を保全する必要がある。

## 謝辞

岐阜大学地域科学部の向井貴彦教授にはカワアナゴ属の同定ならびに原稿執筆についてご指導いただきました。また，NPO土岐川・庄内川サポートセンターの佐藤裕治氏，矢田・庄内川をきれいにする会の鶴飼普氏には供試魚の採捕に協力いただきました。深く感謝いたします。

## 引用文献

- 愛知県. 2020. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち2020—動物編—. 愛知県環境局環境政策部自然環境課，名古屋. 768pp.
- 間野静雄・佐藤裕治・鶴飼 普. 2021. 愛知県庄内川の感潮域に沈めた竹筒で採捕された魚類. なごやの生物多様性，8：81-85.
- 明仁親王. 日本産ハゼ科魚類カワアナゴ属の4種について. 1967. 魚類学雑誌，14：135-166.
- 荒尾一樹. 2009. 三重県の河口域魚類. 豊橋市自然史博物館研究報告，19：35-49.
- 荒尾一樹・山上将史・大仲和樹. 2007. 愛知県の河口域魚類. 豊橋市自然史博物館研究報告，17：29-40
- 荒尾一樹・大和 剛・石田 淳. 2008. 静岡県河口域で採集された魚類. 豊橋市自然史博物館研究報告，18：29-32.
- 岐阜市. 2015. 岐阜市の注目すべき生き物たち 岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト2015. 岐阜市自然共生部自然環境課，岐阜.
- 三重県. 2015. 三重県レッドデータブック～三重県の絶滅のおそれのある野生生物～. 三重県農林水産部みどり共生推進課，津. 757pp.
- 向井貴彦. 2019. 岐阜県の魚類 第二版. 岐阜新聞社，岐阜. 223pp.
- 中坊次夫（編）. 2013. 日本産魚類検索—全種の同定—第三版. 東海大学出版会. 秦野，2428pp.
- 名古屋市. 2015. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックなごや2015 動物編. 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課，名古屋. 504pp.
- 名古屋市. 2020. 名古屋市版レッドリスト2020. 名古屋.

- 26pp.
- 中西尚文・水野知巳・下村耕史. 2008. 淡水魚の多様性保全に関する研究. 平成19年度三重県水産研究所事業報告：101-102.
- Nelson, J.S., T.C.Grande, and M.V.H. Wilson. 2016. Fish of the world. John Wiley and Sons, Inc., Hoboken, New jersey, 752pp.
- 静岡県. 2019. まもりたい静岡県の野生生物2019－静岡県レッドデータブック－動物編. 静岡県くらし・環境部環境局自然保護課, 静岡. 539pp.
- 山川宇宙・瀬能 宏. 2015. 神奈川県内の河川におけるカワアナゴ属魚類の分布. 神奈川自然誌資料, 36：63-68.
- 山下剛司・淀 太我・岡田 誠・廣瀬 充・木村清志. 1997. 三重県熊野地方の河川魚類相. 魚類学雑誌, 44：107-111.